

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 29 年 10 月 6 日)

- 1 星取県フォトコンテストの審査結果等について
【観光戦略課】・・・・・・・・・・ 1 ページ
- 2 日本ジオパーク再認定に係る審査結果と今後の対応方針について【観光戦略課】
・・・・・・・・・・ 2 ページ
- 3 米子香港便就航 1 周年記念行事について 【観光戦略課】・・・・・・・・・・ 3 ページ
- 4 羽田発着枠政策コンテストの継続決定について【観光戦略課】・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 5 韓国ユニバーサルインバウンド視察ツアーの実施結果について
【観光戦略課】・・・・・・・・・・ 5 ページ
- 6 台湾における大学・専門学校を活用したまんが王国とっとり発信事業について
【まんが王国官房】・・・・・・・・・・ 6 ページ
- 7 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について
【西部総合事務所地域振興局】・・・・・・・・・・ 7 ページ
- 8 秋の大山環状道路における社会実験について
【西部総合事務所地域振興局】・・・・・・・・・・ 10 ページ
- 9 鳥取県と株式会社モンベルとの連携と協力に関する包括協定の締結について
【西部総合事務所地域振興局】・・・・・・・・・・ 12 ページ

観光交流局

星取県フォトコンテストの審査結果等について

平成29年10月6日

観光戦略課

本県の星空の魅力を伝えるために開催した星取県フォトコンテストについて、受賞作品を決定し、9月15日に発表しました。なお、特別賞は、星取県スター大使である篠原ともえさんが選定されました。

- (1) 応募のあった作品数：計340点 [募集期間] 平成29年6月1日から8月31日まで
「星と鳥取県の風景」部門・・・星景写真（風景は鳥取県内の風景に限る） ⇒163点
「こんなの撮れマスター」部門・・・夜空の写真（県内外を問わない。夜景も可） ⇒177点

(2) 審査について

星取県推進会議の参加メンバー16名により、2部門の応募作品340点について、厳正なる審査を行い受賞作品を決定した。

(審査員：星に関連する県内有識者・観光関係者12名、本県ゆかりの星空関係者3名及び鳥取県観光交流局長)

※星取県スター大使特別賞については、篠原ともえさんが選定

※審査の結果、受賞作品は4点とも「星と鳥取県の風景」部門に投稿された作品となった。

(3) 受賞作品 ※括弧内は作品タイトル

【大賞】



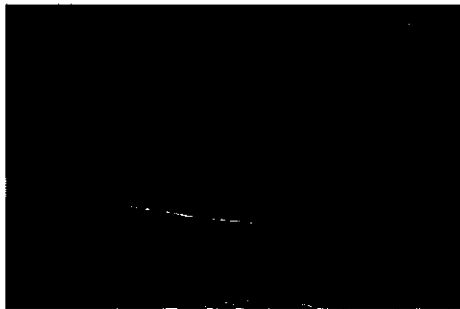
(星々を眺める)

【星取県スター大使特別賞】



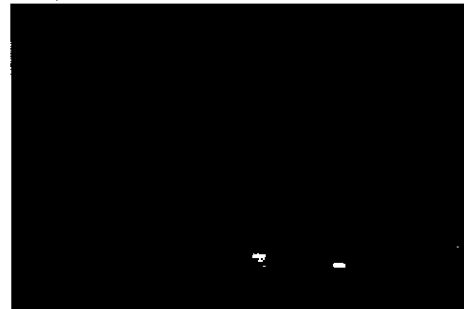
(光陰 火球の如し)

【優秀賞】



(ペルセウス流星群)

【優秀賞】



(たくさんの流れ星とともに)

【参考】星取県サイエンスキャンプの開催について

県内の児童たちが本県の美しい星空を楽しみ、天文・科学・環境分野などへの関心を高めることができるよう、地域全体で美しい星空を守っていく機運醸成につなげるため、さジアストロパーク等の協力で開催する。

○日時：平成29年10月14日（土）～15日（日）

○場所：鳥取市さジアストロパーク（鳥取市佐治町高山1071-1）

○内容：天体観察会、望遠鏡づくり、真空実験、分光器づくり、ドップラーボールづくり ほか

○対象：鳥取県内在住の小学校5、6年生（定員30名）

○主催：鳥取県

日本ジオパーク再認定に係る審査結果と今後の対応方針について

平成29年10月6日
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館
観 光 戦 略 課

山陰海岸ジオパークは、日本ジオパーク及び世界ジオパークの認定を受けており、4年ごとに再認定を受ける必要があります。この度、7月31日から8月2日にかけて、日本ジオパーク委員会（JGC）による日本ジオパーク再認定に係る現地審査が行われ、9月27日にその審査結果が公表されたので、その概要と今後の対応方針について報告します。

1 審査結果

条件付き再認定

※早急に解決を要する重要な問題点があると判断し、2年後に改めて審査を行う。

<審査結果に係る日本ジオパーク委員会のコメント>

- ・この4年間、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークでは、活発なジオパーク活動が各地で取り込まれ、前向きな展開が見受けられた。また、2015年にはAPGN（アジア太平洋ジオパークネットワーク）大会を開催した。
- ・その一方で、ジオパーク内のあらゆるレベルでの連携を欠いており、ユネスコ世界ジオパークとして持続的な運営形態になっているとは言いがたい。
- ・ジオパークを使って地域全体をどうしたいのか、この課題を先送りせず早急に解決する必要がある。
- ・推進協議会や同事務局を含めた様々な主体が問題解決のために対話を繰り返し、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークとしての持続的発展の在り方を考えて欲しい。
- ・以上のことから、日本ジオパークとして条件付き再認定とした。

(参考：現地審査の概要)

- (1) 日程：7月31日（月）～8月2日（水）
- (2) 審査員：中田 節也 氏（JGC副委員長、東京大学地震研究所教授）
橋詰 潤氏（明治大学黒曜石研究センター博士）
和田 庫治 氏（室戸ジオパーク推進協議会事務局長）
- (3) 審査の主なポイント
 - ・前回再認定（H25.12）の際に拡大したエリア（鳥取市青谷町・鹿野町エリア）の取組
 - ・前回再認定の際に示されたコメント（課題）への対応状況
 - ・前回再認定以降の新たな取組など
- (4) 講評（8月2日）における審査員発言（主なもの）
 - ・地域の沢山の方に会ったが、住民が誇りを持つようになったことを感じた。地域のことが大好きで、地域のことをもっと知りたいという思いが伝わり、この地域のジオパークの取組が進んでいるという印象を受けた。
 - ・青谷上寺地遺跡の事例などは、地域の遺産を大切にしている大変素晴らしい事例だと思った。こうした事例を、更に他の地域、他のジオパークにも広めていただきたいと感じた。
 - ・各要素は素晴らしく、光るものは非常に多いが、それを上手くコントロールする事務局の役割がみえない。各地域のボトムアップの活動がどう連携すれば、山陰海岸ジオパーク全体でもっと地域振興に繋がるのかという視点で見ると連携がまだ不十分と感じた。ジオパーク全体として、どこを向いていこうとしているのかそれについて事務局で議論して欲しい。

2 知事コメント

「来年に迫った世界ジオパーク再認定に向け一歩前進した。関係者の御尽力に深く感謝する。今後、条件として提示された連携強化に向けて早急に三府県で協議するとともに、日本のそして世界のモデルとなる山陰海岸ジオパークの発展に邁進していく。」

3 今後の対応方針

10月5日に構成府県市町による対策会議を開催し、今後の連携のあり方について意見交換し、来年の世界ジオパーク再審査において必ず「再認定」を得ることができるよう万全を期すことを確認した。

※来年（平成30年）、世界ジオパークの再認定を受けることができれば、その翌年（平成31年）の日本ジオパーク再審査は実施されない。その後は4年ごとに再認定を受ける（通常のスケジュール）。

米子香港便就航1周年記念行事について

平成29年10月6日
観光戦略課

米子香港国際定期便が9月14日(木)で就航から1周年を迎えるに当たり、9月16日(土)、就航日当日、米子鬼太郎空港で搭乗客や到着客への記念品配布や記念式典等の記念行事を行いました。

また、翌日17日(日)には、イオンモール日吉津で米子香港便・ソウル便の国際定期便の利用促進イベントを行いました。

1 出発客への記念品配布

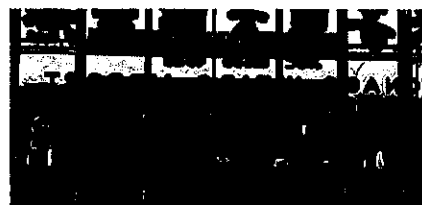
- (1) 日時：9月16日(土) 14:50～16:20
- (2) 場所：米子鬼太郎空港 1階 香港航空搭乗カウンター前
- (3) 内容：出発客111名に香港航空提供のロゴ入りボールペンや鬼太郎グッズ等を記念品として配布

2 米子香港国際定期便就航1周年記念式典

- (1) 日時：9月16日(土) 16:50～17:20
- (2) 場所：米子鬼太郎空港 2階 催事場
- (3) 内容：知事、県議会議員、米子市長、境港市長、国際定期便利用促進協議会、香港航空日本支社、空港関係者(航空自衛隊美保基地、大阪航空局美保空港事務所、米子空港ビル等)、島根県、経済界、観光団体の代表者等約30名が出席し、梨ジュースが入った樽で鏡開きを行い、更なる香港便の発展を祈念して乾杯を行った。

※列席者のほか、一般観覧者や米子香港便の搭乗客も一緒に乾杯を行った。

- ①主催者挨拶 平井知事
- ②来賓挨拶(香港航空 藤朶関西・中四国地区マネージャー、
稲田県議会議員)
- ③鏡開き
- ④乾杯 国際定期便利用促進協議会 足立会長
※就航1周年記念文字入り栞で乾杯し、記念品として参加者へ贈呈
- ⑤記念撮影



3 到着客の歓迎おもてなし(記念品配布等)

- (1) 日時：9月16日(土) 17:20～17:40
- (2) 場所：米子鬼太郎空港 1階 国際線到着ロビー
- (3) 内容：知事、県議会議員、米子市長、境港市長、皆生温泉おかみ会など式典列席の来賓方も記念式典終了後に到着客129名へ記念品の配布や歓迎の出迎えを行った。

- ①鬼太郎ファミリーの着ぐるみの歓迎
- ②到着客への観光パンフレットや鬼太郎空港オリジナルグッズ(どらやき(1周年記念ラベル)、鬼太郎グッズ、シャープペン・クリアファイル)などのプレゼント
- ③到着ロビー出口付近で、到着客へ二十世紀梨の試食提供



4 国際定期便(香港・ソウル便)利用促進イベント

- (1) 日時：9月17日(日) 10:00～16:00
- (2) 場所：イオンモール日吉津 1階 チューリップコート
- (3) 内容：イベント名を『米子鬼太郎空港“もっと”世界へ!みんなで行こう、韓国・香港・マカオ』と題して、アウトバウンド利用促進を目的に、観光情報や旅行プラン、助成制度を紹介。また、中国雑伎ショーや香港航空・エアソウルの航空券(往復ペアチケット)が当たる抽選会等を実施した。

※航空券抽選会には約500名超の応募があった。

- (4) 主催：国際定期便利用促進協議会



羽田発着枠政策コンテストの継続決定について

平成29年10月6日
観光戦略課

10月4日、国土交通省から羽田発着枠政策コンテストの評価結果について発表があり、本県が全日本空輸と共同提案を行った鳥取-羽田便5便化の2年間の継続が決定しました。
これにより、平成30年3月25日より2年間、増便（5便化）が継続します。

○ 評価結果（総合評価）

鳥取空港 B

<他空港の状況：石見空港 B>

（各委員の評価）

	鳥取空港	石見空港
A委員	B	C
B委員	B	C
C委員	B	B
D委員	A	B
E委員	B	B
F委員	B	B
総合評価	B	B

※A…大変優れている

B…一定の効果が認められる

C…大幅な改善を要する

D…成果が期待できない

○ 延長期間

羽田-鳥取路線 延長（平成30年3月25日より2年）

羽田-石見路線 延長（平成30年3月25日より2年）

（参考1）羽田発着枠政策コンテストにおける取組の評価検証に係る懇談会の概要

（1）日時：平成29年9月13日（水）午前9時5分から午前9時50分

（2）場所：中央合同庁舎2号館16階国際会議室

（3）委員：竹内東京女子大学教授（座長）、加藤慶応義塾大学教授、廻敬愛大学教授、
矢ヶ崎東洋大学准教授、花岡東京工業大学准教授、柳川東京大学教授

（参考2）増便後の利用者数の推移（利用者数は無償搭乗（ANA社員・マイルズ利用等）を除いた有償搭乗者数）

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度※
コンテストで掲げた 目標値と目標利用率	—	310,000人 51.6%	350,000人 60.0%	360,000人 61.0%	370,000人 62.0%
実績値と利用率	315,153人 (—)	326,492人 (103.5%)	348,726人 (110.7%)	353,541人 (112.2%)	123,021人 (120.0%)
※（ ）は対H25比率	64.2%	55.1%	58.6%	59.6%	61.4%

※H29年度は4月～7月実績。対H25比率は同期間比

韓国ユニバーサルインバウンド視察ツアーの実施結果について

平成29年10月6日
観光戦略課

平昌オリンピック・パラリンピックが開催されることを契機として、国内のみならず外国の障がい者も安心して鳥取県の旅行を楽しむ「ユニバーサルインバウンドツーリズム」促進のため、韓国からの障がい者視察ツアーを実施しました。

1. 概要

障がい者の海外・国内旅行を支援するため、観光コンテンツの発掘および開発、障がい者旅行情報提供などを実施している韓国の非営利活動団体、障がい者専門の旅行社を招いて、バリアフリーで楽しめる県内の観光地や宿泊施設などの体験・取材を実施しました。

2. 来県者

- 韓国・接近可能な観光ネットワーク 代表チョン・ユンソン
- 障がい者専門の旅行社「トゥリムハンケ」（和訳：二人で一緒に）代表 等

3. 行程

日程	取材先
9月26日（火）	仁川空港→米子鬼太郎空港 日韓友好交流公園 風の丘 (鳥取市内泊)
9月27日（水）	山陰松島遊覧船、鳥取砂丘、砂の美術館、梨狩り あおや和紙工房（和紙すき）、鳥取二十世紀梨記念館 (三朝温泉泊)
9月28日（木）	青山剛昌ふるさと館、植田正治写真美術館 大山まきばみるくの里 (皆生温泉泊)
9月29日（金）	水木しげるロード、JR境港駅 米子鬼太郎空港→仁川空港

4. 来県者（身体障がい者）の感想

(観光地別感想)

- 全て段差がない施設だし、どこにでも行ける。また、梨を大切にしていることがわかる（鳥取二十世紀梨記念館）
- とにかく景色がきれいだった。車いすでもショップに入れるし、あちこち見て回れる。山も海も景色が本当に綺麗。（大山まきばみるくの里）

(全体の感想)

- 色々な国を旅したが、韓国中国東南アジアはかなり段差がある。その段差は心の段差として捉えている。日本には段差がないので、どこにいても受け入れられると思った。
- また、韓国では食事をするとところにバリアフリー対応のトイレがないが、日本では当たり前のようがあるので、基本的欲求を満たしてくれる。誰もが同じ道を共有できる。

5. 今後の取組み

- 韓国内の障がい者新聞「新たな生きがい」や障がい者向け雑誌「VOICE」、インターネットニュース等の媒体へ記事を掲載し、本県観光魅力をPR
- 障がい者専門の旅行商品の造成・販売

台湾における大学・専門学校を活用した「まんが王国とっとり」の発信事業について

平成29年10月6日
まんが王国官房

日本のマンガ・アニメに対する関心が高い台湾において、「まんが王国とっとり」の認知度を高めるとともに、本県への誘客を促進するため、このたび「日本のアニメ聖地88」の選定を行った一般社団法人アニメツーリズム協会及びKADOKAWA Contents Academy (KCA) と連携して情報発信事業を行います。

1 台北城市科技大学での「まんが王国とっとり」特別講義

- (1) 実施日 11月24日(金)
- (2) 場所 台北城市科技大学(台湾 台北市)
- (3) 実施規模 200名程度
- (4) 対象 KCA台湾校受講生、大学生、一般
- (5) 講義内容 赤井孝美氏(米子ガイナックス代表取締役)による経験や実績を通じた講義の中で鳥取県の魅力も語っていただきます。(約90分)

※特別講義前に、台湾メディアに対する記者発表会を実施する。

- (6) 告知方法 メディアを利用した事前告知、KCA、大学での事前告知

2 まんが王国とっとり国際マンガコンテストエキシビジョン in KCA台湾校「角川国際動漫教育」

- (1) 募集作品 「鳥取」をテーマにした「1コママンガ作品」
- (2) 募集対象 KCA台湾校受講生、卒業生
- (3) 募集期限 10月31日(火)
- (4) 選考 赤井孝美氏を中心に鳥取県、アニメツーリズム協会等による選考
- (5) 賞 最優秀賞 1作品、審査員特別賞 4作品

※最優秀賞受賞者は、平成30年2月、鳥取県にて開催の国際マンガコンテスト表彰式・マンガアワードSHOWに招聘する。

3 赤井孝美氏による特別授業×1コママンガ講評発表会 in KCA台湾校「角川国際動漫教育」

- (1) 実施日 11月25日(土)
【第一部】特別授業／【第二部】受賞講評会
- (2) 場所 KCA台湾校「角川国際動漫教育」(台湾 台北市)
- (3) 実施規模 50名程度
- (4) 対象 KCA台湾校受講生、卒業生
- (5) 実施内容 ①赤井孝美氏による受講生、卒業生限定のワークショップ
②「まんが王国とっとり国際マンガコンテストエキシビジョン in KCA台湾校」応募作品の受賞式・講評会等

※特別授業へもメディアを招致する。

- (6) 告知方法 KCA台湾校受講生、卒業生に向けたメール及びSNSでの告知

【参考】

- 台湾は、日本のマンガ・アニメファンが多く、鳥取県関係のコンテンツ(コナン、鬼太郎、Free!)の人気も高い地域であることに加え、赤井孝美氏は育成ゲーム「プリンセスメーカー」の生みの親として現地マンガ・アニメファンに影響力が大きい。
- (一社)アニメツーリズム協会とは、アニメ資源を活かした訪日観光客のエリア送客促進を目的に、(株)KADOKAWAを中心に平成28年9月、官民連携で設立された団体。
- KADOKAWA Contents Academyとは、海外で日本のマンガやアニメ業界で活躍できるクリエイターを育成することを目的に、クールジャパン機構の出資を得て設立された法人。KCA台湾校(角川国際動漫教育)はその第1号校。
- 台北城市科技大学とは、台北市にある私立大学。工業系の大学だが、観光・ホスピタリティ学や舞台芸術学など特徴的な学部もある。日本との交流を積極的に行い、日本の様々な産業との交流と研究を通して、学生達の多様な就業力を養成する教育を進めている。

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーパーティ等について

平成 29 年 10 月 6 日
西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーパーティとして、1300 年祭のコアイベントとなる来年 8 月の第 3 回「山の日」記念全国大会開催に向けた「山の日帽」の披露と「山鐘(さんしょう)」を用いた市町村リレーイベント、初開催となる「秋のたいまつ行列」等を実施したので、その概要を報告します。

併せて、近日開催予定のプレ・イヤーパーティ、1300 年祭関連行事等について報告します。

1 大山開山 1300 年祭プレ・イヤーパーティ (9 月 24 日) の概要

(1) ホーリー・トレイル (大山古道「川床道」ハイク)

人気ハイカー高橋庄太郎氏、こいしゆうか氏とともに、400 年前の自然石で作られた石畳などの古道ルートを満喫。

※一向平 (琴浦町) から川床 (大山町) までの約 9km。一般参加 24 名。



(2) 秋のたいまつ行列・山の日セレモニー【大神山神社奥宮、博労座第 4 駐車場】

ア オープニングステージ (大山僧兵太鼓)、からす天狗市 (屋台)

イ ステージイベント

・「山の日帽」お披露目セレモニー&「山鐘」リレーイベント

・ホーリー・トレイルゲストハイカーのトークセッション

・1300 年祭プレ・イヤーパーティ記念コンサート

(ゴスペル合唱団 ゴスペルオーブ)

ウ たいまつ行列

エ たいまつ行列を迎えるステージイベント

・大山僧兵太鼓、下蚊屋の荒神神楽



2 「山の日帽」お披露目セレモニー及び市町村「山鐘」リレーイベント

「山の日」記念全国大会の大会シンボルである「山の日帽」を初披露し、同じく大会シンボルである「山鐘」を各市町村で持ち回るリレーイベントをスタート。

(1) 日 時 平成 29 年 9 月 24 日 (日) 午後 4 時 35 分から 5 時 55 分まで

(2) 場 所 大山博労座第 4 駐車場 特設ステージ (鳥取県大山町大山)

(3) 出席者 鳥取県 (中山西部総合事務所長、酒嶋生活環境部長)、米子市 (伊澤副市長)、大山町 (竹口町長)、若桜町 (小林町長)

(4) 内 容

○伯耆国「大山開山 1300 年祭」及び「山の日」記念全国大会の紹介

○第 3 回「山の日」記念全国大会開催地あいさつ (鳥取県、米子市、大山町)




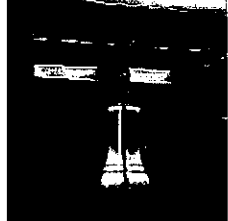
○「山の日帽」及び「山鐘」の披露

○「山鐘」リレーイベント (大会開催地(米子市・大山町)から若桜町へ)

<参考>次回のリレー (予定)

・10 月 7 日 (土)「わかさ氷ノ山山フェス」にて若桜町から岩美町へ

※岩美町以降のリレー先は、今後、各市町村と調整して決定予定。

山の日帽お披露目	山鐘リレー
 	 

3 近日開催予定のプレ・イヤーイベント（大山山麓の秋の魅力を満喫するウォーキング・トレッキングイベント）

県内外の多くの方に 1300 年祭をPRするため、大山圏域の秋の魅力を感じられるプレ・イヤーイベント（集客力の高いウォーキング・トレッキングイベント）を開催。

⇒気持ちのいい汗をかきながら、紅葉など秋の大山山麓の景観・自然・歴史・食を楽しんでいただき、同祭を前に、大山の魅力を発見、体感していただく。

(1) 東大山古道トレッキング（運営団体：特定非営利活動法人 未来）

※3 コースの設定

日時：①10月21日（土）～22日（日）、②21日（土）、③22日（日）

場所：①大山町・琴浦町・倉吉市（川床、大山滝、関金温泉、～旧国鉄倉吉線廃線跡～大山池～明倫円形校舎～白壁土蔵群）、②琴浦町（大山滝）、③倉吉市（関金温泉、大山池）

内容：当時の面影を今に伝える苔むした石畳を踏みしめ、人々の暮らしや信仰に思いを馳せながら、歴史の道100選「大山道（川床道）」などをたどる。①の大山町・琴浦町・倉吉市コースでは、歴史、名滝、名湯を結ぶ東大山古道、総延長48kmの本格的ロングトレイルが楽しめる。

(2) 大山紅葉満喫ウォーク（運営団体：大山環状道路自動車利用適正化社会実験協議会）

日時：10月28日（土）

場所：①江府町（奥大山スキー場、鍵掛峠）

②大山町・伯耆町（博労座第5駐車場、横手道、大山環状道路、樹水高原）

内容：錦秋の大山環状道路を自動車を気にすることなくゆっくりと散策し、紅葉などを満喫。



(3) 奥大山古道ウォーク（運営団体：奥大山古道保存協議会事務局）

日時：11月11日（土）

場所：江府町（鍵掛峠、御机集落、下蚊屋集落）

内容：日本の原風景、後醍醐天皇ゆかりの味覚、伝統の下蚊屋荒神神楽を堪能。



(4) 三徳山トレイルウォーク（運営団体：日本遺産三徳山三朝温泉を守る会）

日時：11月12日（日）

場所：三朝町（ふるさと健康むら、三朝温泉、三徳山）

内容：大山と三徳山・三朝温泉、2つの日本遺産の歴史・文化などのつながりを探訪しつつ、秋の三徳山の自然や景観を楽しみながら散策。



(5) 奥日野たたら製鉄モニターツアー（運営団体：奥日野たたらをのりづくりプロジェクト実行委員会）

日時：10月21日（土）～22日（日）、11月25日（土）～26日（日）

場所：日野町（都合山たたら遺跡）

内容：都合山たたら遺跡で使えるAR（拡張現実。現実の空間の一部に仮想空間を重ね合わせる。）アプリを活用したトレッキングモニターツアー。CGでたたら操業時の様子などを再現。

4 伯耆国「大山開山 1300 年祭」決起大会

大山圏域を中心として、地域が一体となって 1300 年祭を盛り上げていくために、民間団体等が中心となって開催する。

⇒ 関係者間の交流の深化、1300 年祭に向けた機運醸成により、民間団体を中心とする 1300 年祭のさらなる取組の推進、盛り上がりにつなげる。

- (1) 日時 平成 29 年 10 月 7 日 (土) 午後 1 時～
- (2) 会場 ANA クラウンプラザホテル米子 ※10 月 1 日に米子全日空ホテルから名称変更
- (3) 内容 当日は、平成 28 年 4 月 25 日に日本遺産に認定された「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」にちなんで、「大山日本遺産物語」の紙芝居披露、郷土芸能「高城牛追掛節」披露なども予定。

5 米子東ロータリークラブから大山町への杖等の贈呈

米子東ロータリークラブが、高齢者等への配慮、大山寺来訪者の満足度向上に資する取組として大山町に杖と収納台を贈呈。

⇒1300 年祭を前に、地域民間の力により、おもてなしの機運醸成、利便性の向上が図られる。

- (1) 贈呈品
杖 100 本、杖収納台 2 台 ※杖収納台には 1300 年祭のロゴを焼き付け。
- (2) 贈呈品の活用方法
杖収納台を観光案内所等(※調整中)に置き、大山寺を参詣される観光客等に杖を無償貸与。
- (3) 贈呈式 (予定)
ア 日時 10 月 15 日 (日) 午前 8 時 55 分頃
イ 場所 大山博労座駐車場
ウ 内容 ・米子東ロータリークラブ代表者挨拶
・杖、収納台贈呈
・大山町からの御礼
- (4) 参考 (ロータリークラブについて)
・ロータリークラブは、自分の職業を通じて、地域社会等への貢献を実践する、全世界 200 国以上にネットワークを有する奉仕団体。
・米子東ロータリークラブは 100 名を超える会員 (企業代表、医師、専門職など) を有し、毎年の大山一斉清掃、中海一斉清掃などに参加し、作文コンテストなども開催。

6 大山山麓定額タクシーの試験運行

大山山麓周辺の二次交通の充実のため、定額タクシーの試験運行を実施する。

※大山山麓観光推進協議会の補助事業により、鳥取県ハイヤータクシー協会西部支部が実施。

- (1) 実施期間 10 月～11 月
- (2) 運行概要

運行区間	皆生温泉～大山寺	米子駅～植田正治写真美術館
運行日	10 月 / 2 日 (月) ～ 6 日 (金) 10 日 (火) ～ 13 日 (金) 16 日 (月) ～ 19 日 (木) 11 月 / 6 日 (月) ～ 30 日 (木) ※大山～ぶバスの運行しない日	10 月 1 日 (日) ～ 11 月 30 日 (木)
料金	1,000 円 / 人 (2 人以上で乗車の場合に限る)	2,000 円 / 台
受付窓口 (※)	<皆生温泉から乗車の場合> 皆生温泉旅館組合 (0859-34-2888) (受付時間: 9 時～18 時) <大山寺から乗車の場合> 大山町観光案内所 (0859-52-2502) (受付時間: 8 時 30 分～17 時)	<米子駅から乗車の場合> 米子市観光案内所 (0859-22-6317) (受付時間: 9 時～17 時) <植田正治写真美術館から乗車の場合> 植田正治写真美術館 (0859-39-8000) (受付時間: 9 時～17 時)

※利用の際は、乗車の前に受付窓口で利用申込手続が必要

<参考>大山山麓観光推進協議会

大山山麓エリアの市町村と県が主体となり広域的な観光振興を推進し、周遊滞在型観光地の形成に資することを目的として平成 15 年 6 月に設立。

秋の大山環状道路における社会実験について

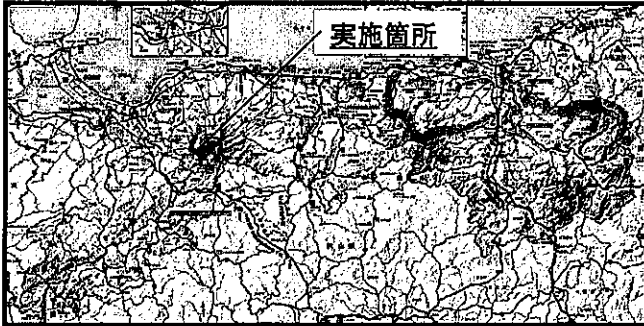
平成29年10月6日
西部総合事務所地域振興局
米子県土整備局

大山の紅葉シーズンの大山環状道路の渋滞による環境負荷の軽減を目的として、平成27年に開始した社会実験について、3回目となる今年度は、大山開山1300年祭を来年に控え、ウォーキング等の観光振興に重点をおいた内容で開催することになりましたので、その概要について報告します。

記

- 1 実施日 : 平成29年10月28日(土)
- 2 実施主体 : 大山環状道路自動車利用適正化社会実験協議会(会長:鳥取県西部総合事務所長)(県、大山町、伯耆町、江府町、環境省、警察、観光団体などで構成)
- 3 平成27年、平成28年度実験結果
 - バスの利用者からは、「車の騒音や排気ガスを気にせず、ゆっくりと紅葉を楽しむことができた」等の意見があり、概ね好評であったが、周辺観光施設からは、実験を評価する意見と評価しない意見がそれぞれあり、特に通行規制の起終点にあたる榊水高原と奥大山スキー場で観光客減少を懸念する意見があった。
- 4 平成29年度取組方針
 - これまでの社会実験の結果を踏まえ、これまでの目的である「環境負荷の軽減」及び「来訪者の満足度の向上」という2つの観点に「周辺観光施設への影響」と「経費の削減」の観点も追加し、より効果的で持続性のある取組みについて検討する。
 - 「国立公園満喫プロジェクト」と「大山開山1300年祭のプレイヤーイベント」の一環として実施し、通行規制区間でおこなうイベントを企画。
 - 社会実験実施日を大山の魅力を発信する日として対外的にアピール。
 - 経費削減をしつつ民間の協力・協賛を募り、持続性のある取組みを検討。
- 5 実施計画
 - (1) イベント
 - 大山紅葉満喫ウォーク(通行規制道路を含めた区間でのウォーキング)
 - 秋の奥大山うまいもん祭り(奥大山スキー場では、江府町主催で奥大山の素材を使ったグルメ祭りを開催)
 - エコカーフェス in 大山(大山寺では、環境立県推進課主催のEVラリーの開催)
 - (2) シャトルバスの運行計画
 - 区間 : 大山寺～榊水高原(往復) (4.0km)
榊水高原～鍵掛峠(往復) (5.3km)(途中、停留所2箇所あり)
奥大山スキー場～鍵掛峠(往復) (2.1km)
 - 運行時間 : 午前7時30分始発 ～ 午後0時45分終発
 - 運行間隔 : 15分間隔
 - 乗車料金 : 無料
 - (3) 駐車場
 - 大山寺(約650台)、榊水高原(約150台)、奥大山(約400台)を利用
 - (4) 通行規制
 - 区間 : 榊水高原 ～ 奥大山スキー場(7.5km)
 - 時間 : 午前7時 ～ 午後1時 ※ H28より規制時間を短縮
 - 規制車両 : 自動車及びオートバイ(身体の不自由な方の自家用車及び自転車は除く)

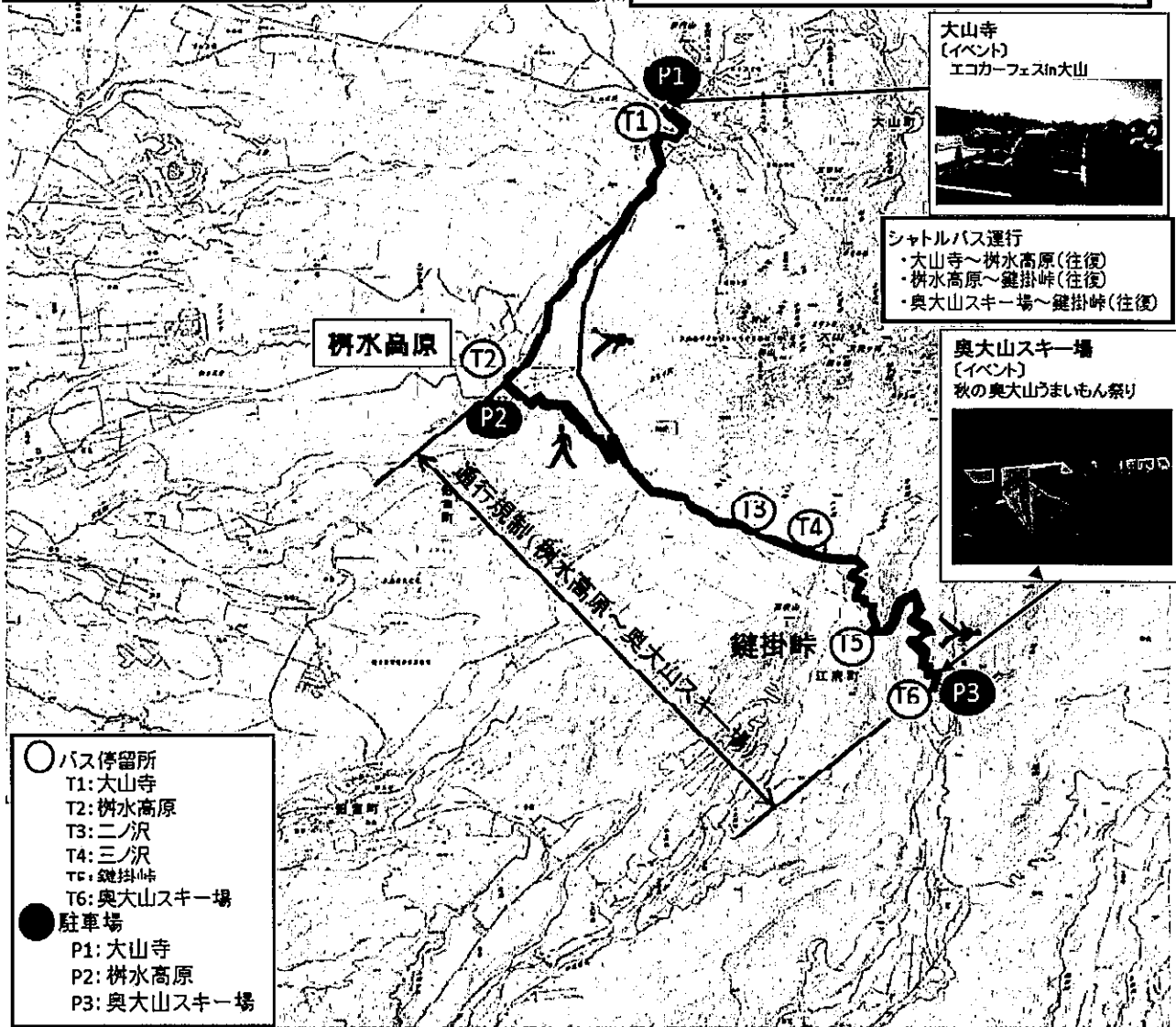
【位置図】



第1回大山紅葉満喫ウオーク

スタート 午前9時から
定員 各コース200人

- ①「奥大山コース」 約4.2km
スタート=奥大山スキー場→鍵掛峠(折り返し)
→奥大山スキー場=ゴール
- ②「健脚・横手道コース」 約6km
スタート=博労座第5駐車場→大山寺橋→
横手道→横手別れ南口→大山環状道路→
榎水高原=ゴール(シャトルバスで博労座へ)



- バス停留所
T1: 大山寺
T2: 榎水高原
T3: 三ノ沢
T4: 三ノ沢
T6: 奥大山スキー場
- 駐車場
P1: 大山寺
P2: 榎水高原
P3: 奥大山スキー場

【昨年の実施状況】



三ノ沢～三ノ沢間のブナ林



シャトルバス運行状況

鳥取県と株式会社モンベルとの連携と協力に関する包括協定の締結について

平成29年10月6日
西部総合事務所地域振興局

鳥取県と株式会社モンベルは、相互の連携を強化し、アウトドア活動等の促進を通じた地域の活性化と県民生活の質の向上に資するため、以下のとおり包括協定の締結を行います。

1 協定締結式の概要

- (1) 日 時 平成29年10月7日(土) 午後4時から午後4時30分まで
- (2) 場 所 モンベル大山店 2階(西伯郡大山町大山115)
- (3) 内 容 概要説明、協定書署名、記念撮影、記者会見
- (4) 出席予定者
 - ・株式会社モンベル代表取締役会長 辰野 勇
 - ・鳥取県知事 平井 伸治

2 協定の概要

(1) 協定の目的

鳥取県と株式会社モンベルが、緊密な相互連携のもと、アウトドア活動等の促進により、社会が直面する課題に対応し、県内地域の活性化及び県民生活の質の向上に寄与することを目的とする。

(2) 協定の内容

鳥取県と株式会社モンベルは、目的を達成させるために次の事項について連携・協力する。

- ・自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関する事
- ・子どもたちの生き抜いていく力の育成に関する事
- ・自然体験の促進による健康増進に関する事
- ・防災意識と災害対応力の向上に関する事
- ・地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関する事
- ・農林水産業の活性化に関する事
- ・高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進に関する事

<参考>

1 株式会社モンベル概要

- (1) 本社：大阪市西区新町2丁目2番2号
- (2) 代表：代表取締役会長 辰野 勇
- (3) 創立：1975年8月1日
- (4) 業種：アウトドアスポーツ用品 企画、製造、販売
- (5) モンベルストア：国内120店舗、国外6店舗(平成29年9月28日現在)
- (6) 備考：モンベル大山店：2008年7月11日中国地方初のショップとしてオープン

2 株式会社モンベルと地方公共団体との包括連携協定締結状況(平成29年9月28日現在)

- ・都道府県：2団体(三重県、長野県)
- ・市町村：18団体(鳥取県大山町など)